

「未来を創造し、社会に貢献する人材の育成」

平成30年度 柳津町立会津柳津学園中学校

学校だより

平成30年11月 9日(金)発行 第 28 号 発行責任者:高橋 弘悦

堂々の発表 青少年の主張大会

5日、第32回を迎える柳津町青少年の主張大会が、本校体育館を会場に開催されました。昨年に引き続き、町内3校の児童生徒も観客として参加し、お互いの主張に耳を傾けました。

本校からは、各学年を代表して3名が発表。1年生の二瓶真桜さんは、特設合唱部での経験を、2年生の増井陽菜さんは、バレーボール部のキャプテンとして学んだことを、3年生の佐藤謙多くんは、部活動や

沖縄の研修交流を通して感じた「感謝の大切さ」を発表してくれました。内容的にも深いものがあり、発表が終わると会場から大きな拍手をいただきました。



読み聞かせ・学習ボランティアをしました

小中学校の交流の一環として、5日、柳津小学校で読み聞かせと学習ボランティアを実施しました。

読み聞かせを行ったのは1年生。国語の時間を利用して選定した絵本を、小学校1、2年生とともに楽しみました。

学習ボランティアは、小学校3、4年生を2年生が、5、6年生を3年生が担当し、算数の授業に指導補助として参加しました。小学校の算数は、ある面では中学校数学よりも



奥が深く、考えさせられる問題が多いものです。ましてや学習支援…。生徒も四苦八苦しながら取り組んでいました。



校歌が紹介されました！ 10/30 福島民友



新たに制作された校歌を歌う生徒たち

会津柳津学園中
柳津町

伝説に触れ 成長願う

わが校歌

柳津町の会津柳津学園中は、柳津、西山両中学校の統合校として今年4月誕生した。両校の生徒から詞を募り、フレーズを組み合わせて作詞した校歌を、1期生たちが元氣よく歌っている。

校歌の詞は「若き魂」(2番)など柳津、西山両中の校歌の一部も引き継いだ。「賢く 優しく」

只見川の竜神が無病息災などをつかさどる同寺の「宝照の玉」を奪いに来た際、村人が結束して追い返したという伝説もある。

校歌では「伝説眠る」の「里で」(1番)、「龍も畏れる 人となる」(3番)とのフレーズで、町の伝説に触れながら子どもたちの成長を願っている。

作曲は、音楽家の細川佳那枝さんに依頼。現代風の軽快なメロディとなっている。

高橋弘悦校長は「生徒たちが成長できる学校であり続けたい。優しい曲調の校歌をいつまでも歌い継いでほしい」と話す。

一、いつもの山が輝いて
いつもの川が流れゆく
伝説眠る この里で
優しく語り 咲かせ合う
いいまち いい夢 いい未来
憧れもって 語り合う
集いの丘の わが母校
(2番略)

三、 尊き魚 泳ぐ里
龍も畏れる 人となる
賢く優しく たくましく
共に敬い 歩み行く
いい歌 いい友 いい出会い
たのしく学び 競い合う
理想の丘の わが母校
我らが母校 会津柳津学園中学校
作詞 平成29年度町内中学生
作曲 細川 佳那枝